

# 2023年度決算説明資料

2024年5月8日

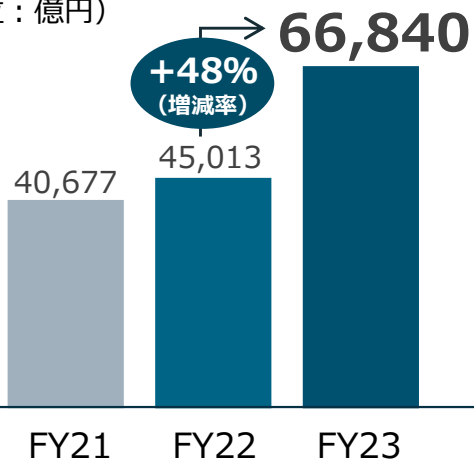
三菱重工業株式会社

<b>1. 決算実績のポイント</b>	<b>3-9</b>
<b>2. 2023年度決算実績</b>	<b>10-20</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 連結経営成績サマリー</li><li>・ 連結財政状態</li><li>・ キャッシュ・フロー</li><li>・ 事業利益増減分析</li><li>・ セグメント情報</li></ul>	
<b>3. 2024年度業績見通し</b>	<b>21-28</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 業績見通しサマリー</li><li>・ 事業利益増減分析</li><li>・ 財務指標の推移</li><li>・ セグメント情報</li></ul>	
<b>4. 補足資料</b>	<b>29-34</b>

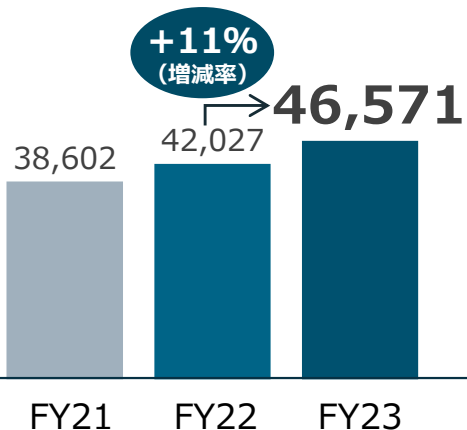
# 1. 決算実績のポイント

## 受注高

(単位：億円)



## 売上収益



## EBITDA

**4,326**  
億円  
(YoY +1,014億円)

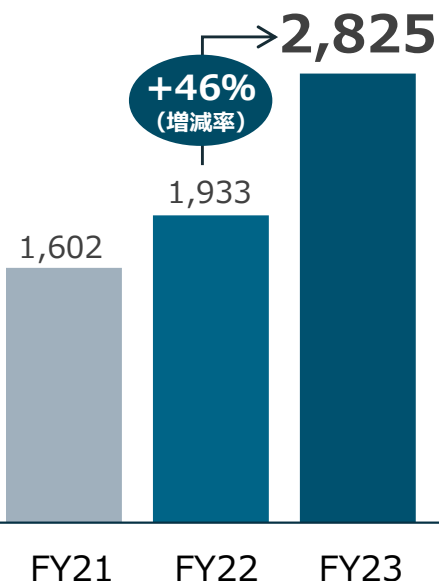
EBITDAマージン  
9.3%  
(YoY +1.4 pts)

## フリーCF

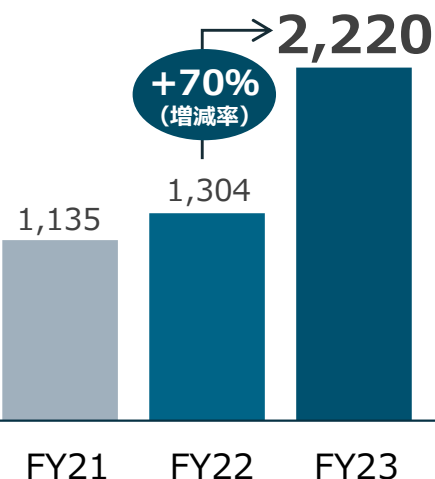
**2,001**  
億円  
(YoY +1,648億円)

営業CF  
3,311億円  
(YoY +2,502億円)

## 事業利益



## 当期利益



## 有利子負債

**7,289**  
億円  
(YoY △134億円)

## ROE

**11.1%**  
(YoY +3.2 pts)

純有利子負債  
2,976億円  
(YoY △970億円)

## 配当

**200**円/株  
(YoY +70円/株)

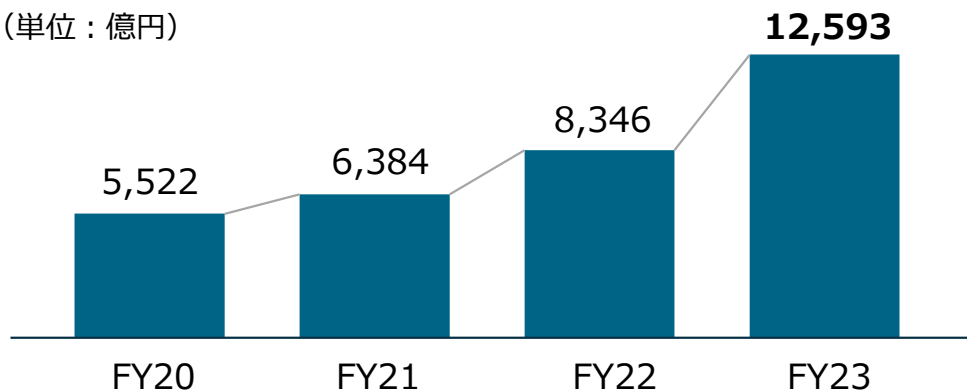
- 受注高、売上収益及び当期利益は、過去最高となった
- フリー・キャッシュ・フローは、前年度比1,648億円増の2,001億円となった。  
営業キャッシュ・フローは3,311億円、投資キャッシュ・フローは△1,310億円となった
- 受注高：66,840億円（前年度比：+21,827億円）  
全セグメントにおいて前年度実績を上回る。  
主な事業別では、とくにGTCC、原子力、防衛・宇宙が受注高を大きく伸ばした
- 売上収益：46,571億円（前年度比：+4,543億円）  
全セグメントにおいて前年度実績を上回る。  
主な事業別では、とくに製鉄機械、物流機器、防衛・宇宙が売上収益を大きく伸ばした
- 事業利益：2,825億円（前年度比：+892億円）  
全セグメントで前年度比増益。海外の一部工事で生じた損失が減益要因となったが、売上増、工事採算の改善、サービス事業の拡大、価格適正化、為替影響等が寄与し、事業利益は前年度比46%増の2,825億円となった
- 当期純利益：2,220億円（前年度比：+915億円）  
事業利益の増加にくわえて円安進行もあり、前年度比70.2%増の2,220億円となった
- 配当は、従前公表の一株当たり160円から40円を上乗せした一株当たり200円を予定する。  
前年度比70円の増配

# 決算ハイライト – GTCC事業の受注高・売上収益 –

## 受注高

- 受注高は過去最高
- 新設は大型ガスタービンを17台受注
- 新設・サービスともに北米及び日本を含むアジアを中心に増加
- 2年連続でグローバル市場シェア1位を獲得

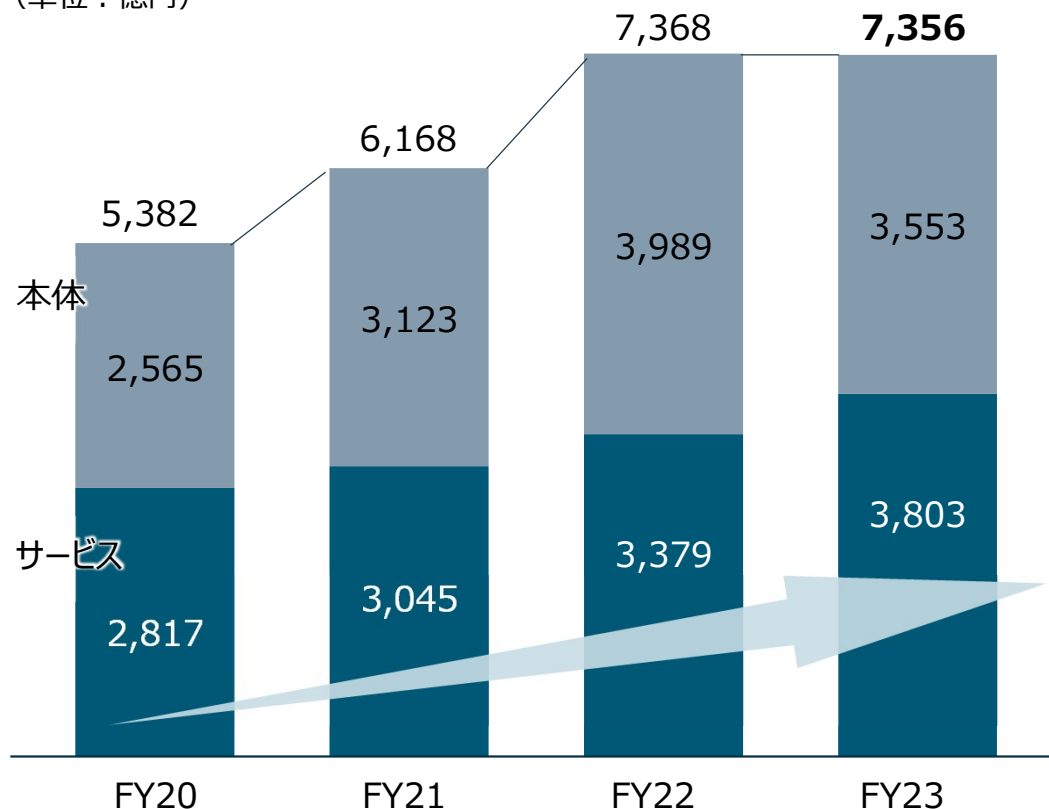
(単位：億円)



## 売上収益

- 20年度以降、新設・サービスともに事業規模は順調に拡大
- 継続的な新設受注とアフターサービスにより高操業。増産に対応、人員を増強中

(単位：億円)



## ガスタービンの当社シェア (全世界)

( ■ : 当社 )

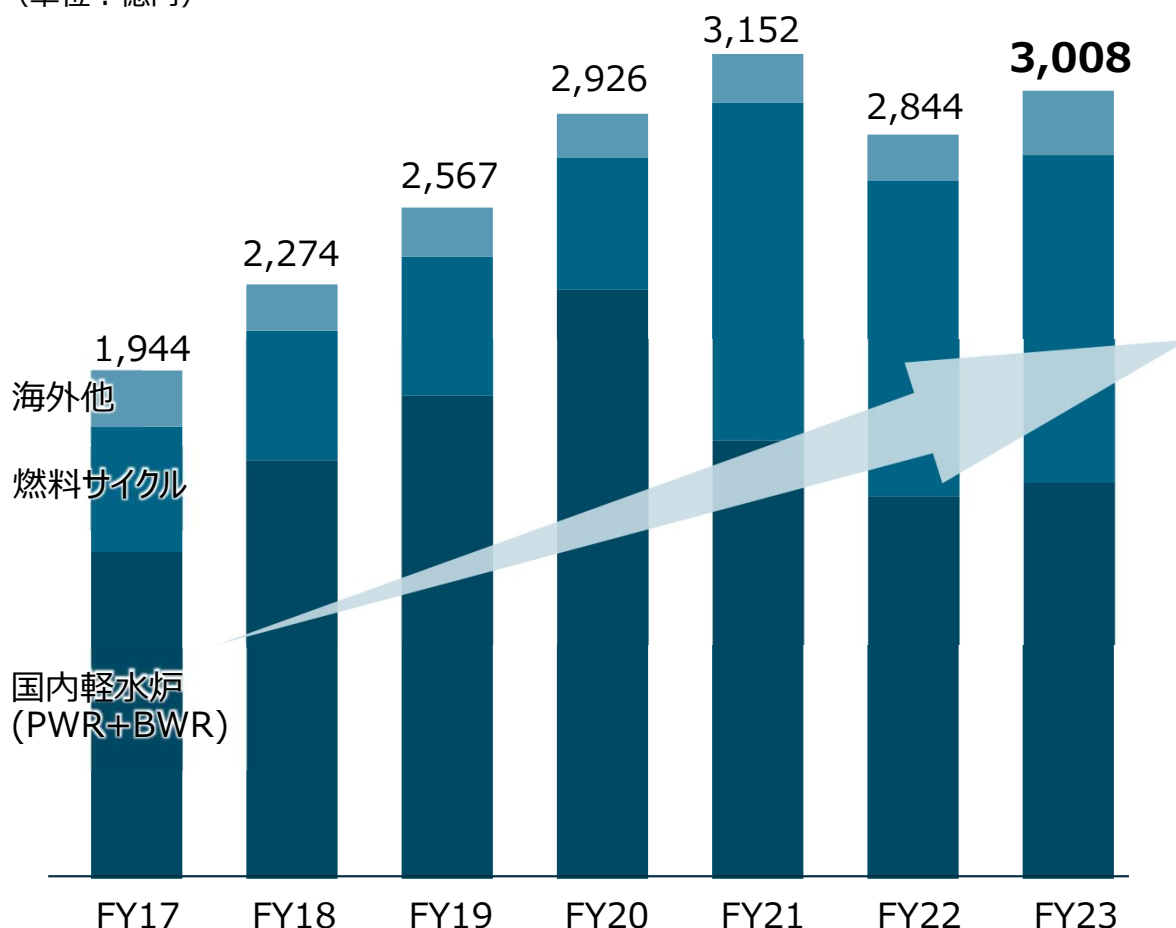


Courtesy of McCoy Power Reports(全出力レンジ、GT容量ベース)

- 国内軽水炉の再稼働・特重施設※<sup>1</sup>設置、燃料サイクル施設の竣工に向けた対応を着実に推進し、事業規模は拡大基調

## 売上収益

(単位：億円)



- PWR※<sup>2</sup>の再稼働は順調に進捗。23年度には、関西電力高浜発電所1,2号機の再稼働実現に貢献
- BWR※<sup>3</sup>プラントの再稼働・特重施設設置工事についても、当社工事範囲が拡大し、売上が増加
- 高速炉・高温ガス炉実証炉開発の中核企業に当社が選定。今後、開発・設計の本格化により売上が増加する見込み

※1 特重施設（特定重大事故等対処施設）：プラントとは完全に独立し、航空機衝突やテロ等の際に安全に運転停止できる大規模施設  
 ※2 PWR（Pressurized Water Reactor）：加圧水型原子炉  
 ※3 BWR（Boiling Water Reactor）：沸騰水型原子炉

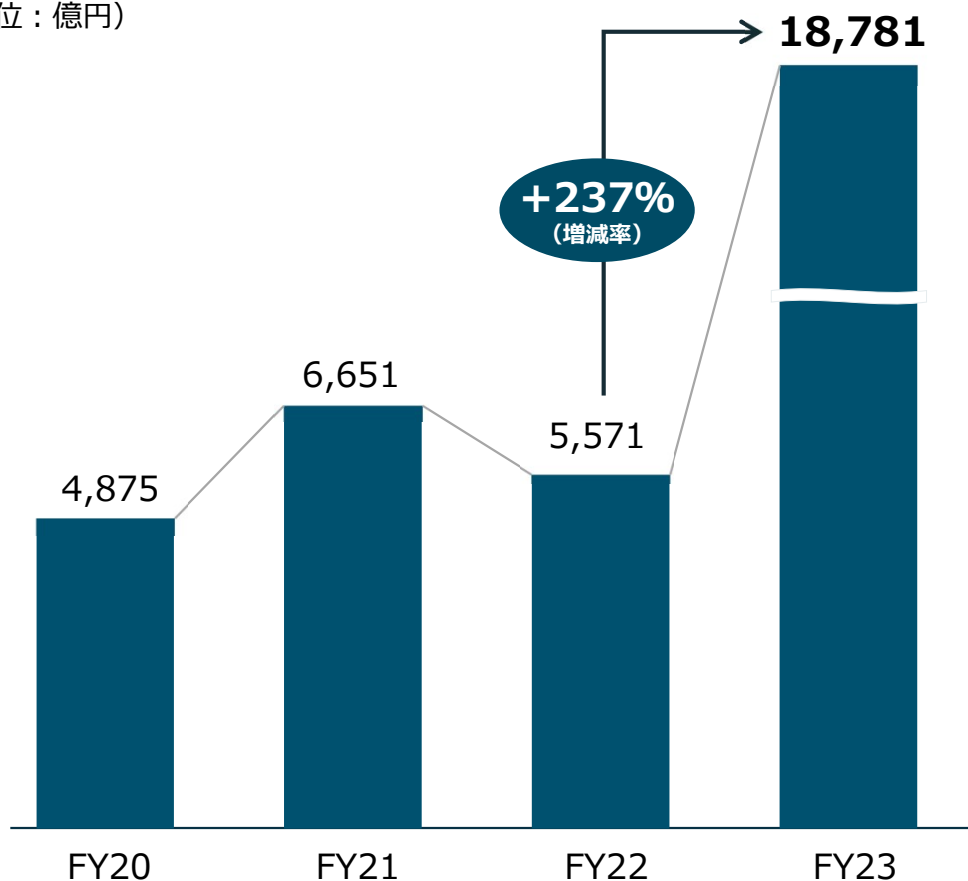
## 受注高

- 日本政府の防衛力の抜本的強化の方針を受けて、23年度はスタンド・オフ防衛能力に関する案件をはじめ、複数の大型案件を受注

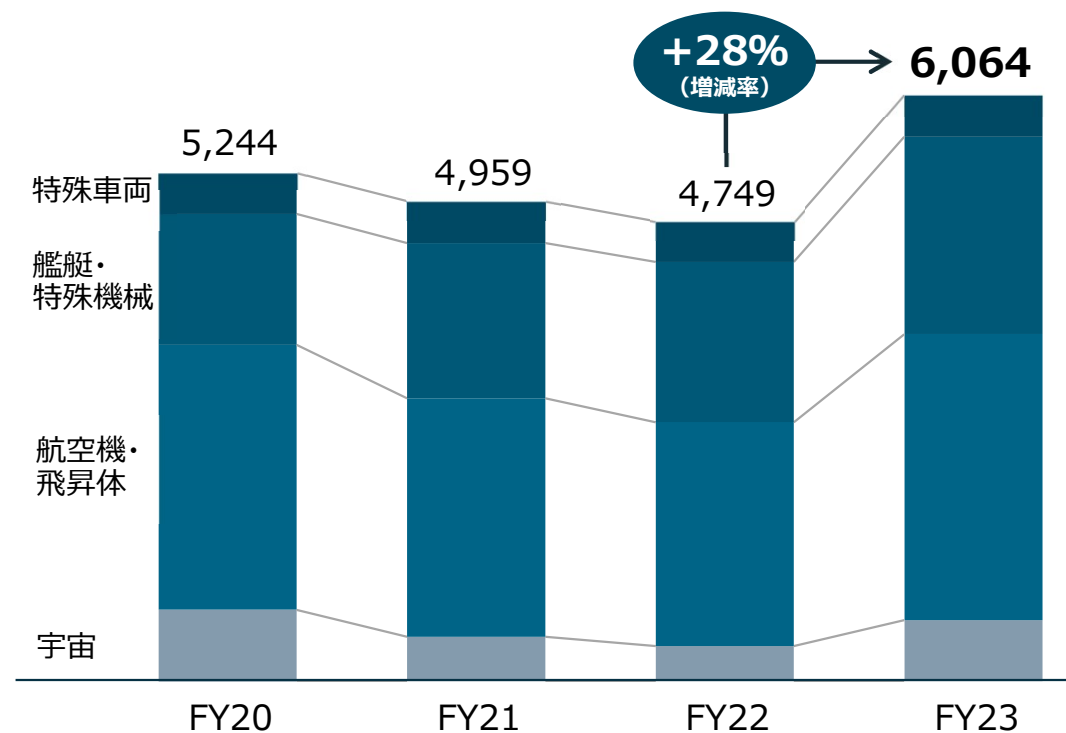
## 売上収益

- 前年度に比べ、とくに航空機・飛昇体、艦艇・特殊機械の売上が増加

(単位：億円)



(単位：億円)





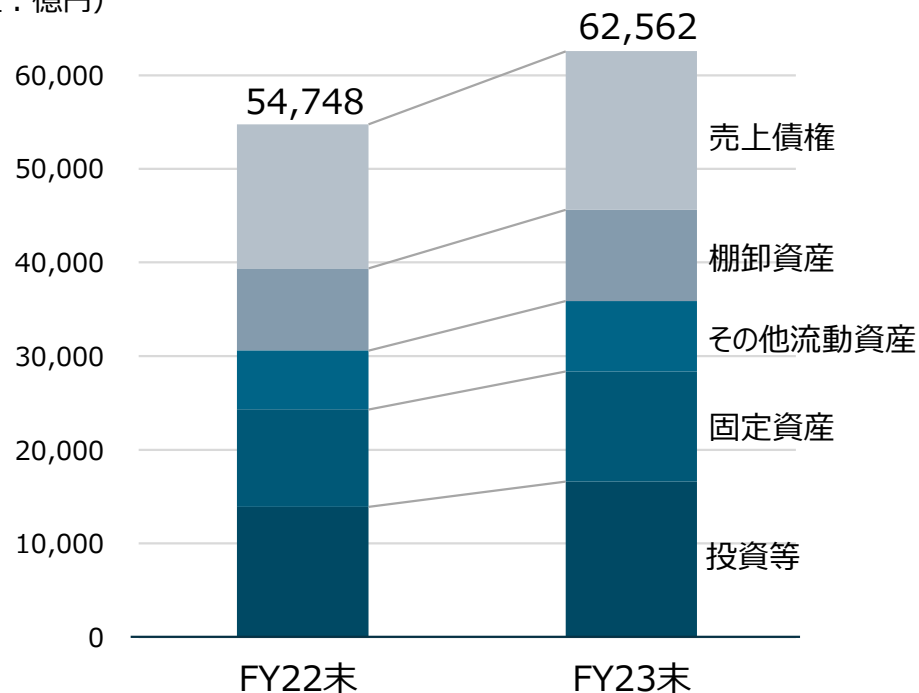
**Intentionally left blank**

## 2. 2023年度決算実績

(単位：億円)	2022年度 (利益率)	2023年度 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	45,013	66,840	+21,827	(+48.5%)
売上収益	42,027	46,571	+4,543	(+10.8%)
事業利益	1,933 (4.6%)	2,825 (6.1%)	+892 (+1.5 pts)	(+46.1%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,304 (3.1%)	2,220 (4.8%)	+915 (+1.7 pts)	(+70.2%)
ROE	7.9%	11.1%	+3.2 pts	
EBITDA	3,311 (7.9%)	4,326 (9.3%)	+1,014 (+1.4 pts)	(+30.6%)
フリー・キャッシュ・フロー	353	2,001	+1,648	

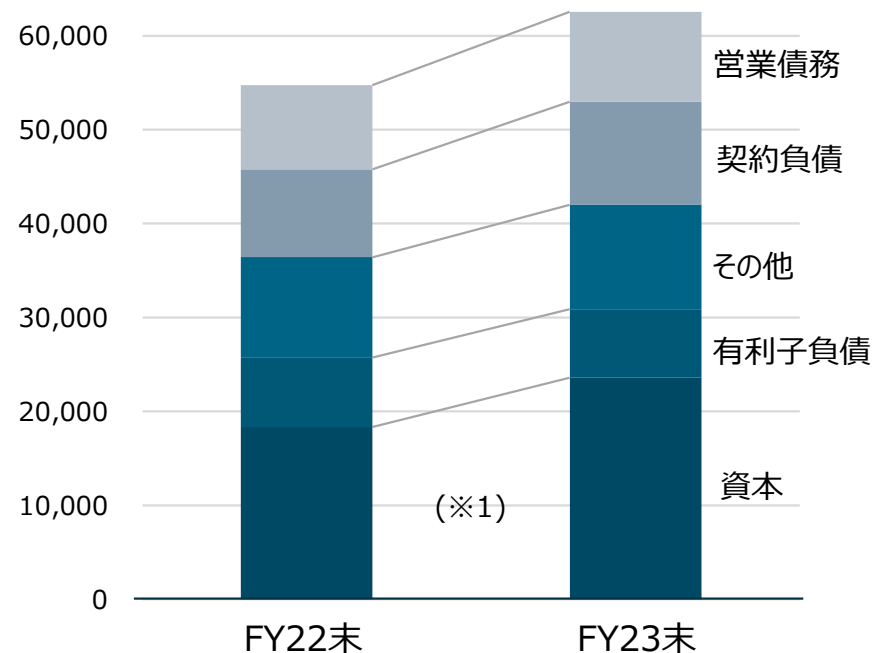
## 資産

(単位：億円)



## 負債・資本

(単位：億円)



(※1) 資本の増減の主な内訳 (単位：億円)  
 当期利益 + 2,220、配当△503、退職給付再測定 + 1,723、  
 為替換算調整 + 1,032

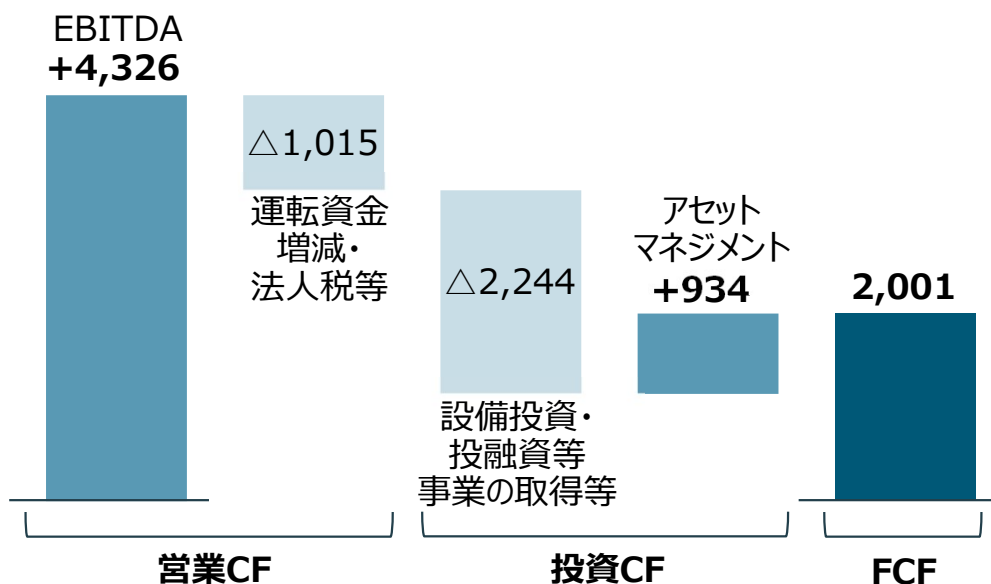
- 総資産は、事業規模の拡大及び外貨建資産等の時価評価の変動影響により、売上債権、投資等が増加し、前年度末から増加
- 有利子負債は前年度末とほぼ同水準を維持し、自己資本比率は4.1ポイント上昇、D/Eレシオは0.31

	FY22末	FY23末	増減
有利子負債残高(億円)	7,424	7,289	△134
自己資本比率	31.8%	35.9%	+4.1pts
D/Eレシオ	0.40	0.31	△0.09

(単位：億円)	FY22末	FY23末	増減
売上債権（営業債権、契約資産）	15,364	16,924	+1,559
棚卸資産	8,768	9,745	+976
その他流動資産	6,289	7,529	+1,239
（現金及び現金同等物）	(3,476)	(4,312)	(+836)
固定資産	10,411	11,747	+1,335
投資等	13,913	16,615	+2,702
<b>資産合計</b>	<b>54,748</b>	<b>62,562</b>	<b>+7,814</b>
営業債務	8,952	9,588	+636
契約負債	9,367	10,951	+1,583
その他	10,663	11,125	+462
有利子負債	7,424	7,289	△134
資本	18,339	23,606	+5,266
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(17,409)	(22,446)	(+5,036)
<b>負債・資本合計</b>	<b>54,748</b>	<b>62,562</b>	<b>+7,814</b>

## フリー・キャッシュ・フロー

(単位：億円)



### 営業キャッシュ・フロー

- EBITDAが前年度から1,014億円増加し、3,311億円の営業キャッシュ・フローを確保

### 投資キャッシュ・フロー

- 設備投資・投融資等は、昨年度と同水準を維持
- 成長領域の強化のため米国コンセントリック社を買収

(単位：億円)

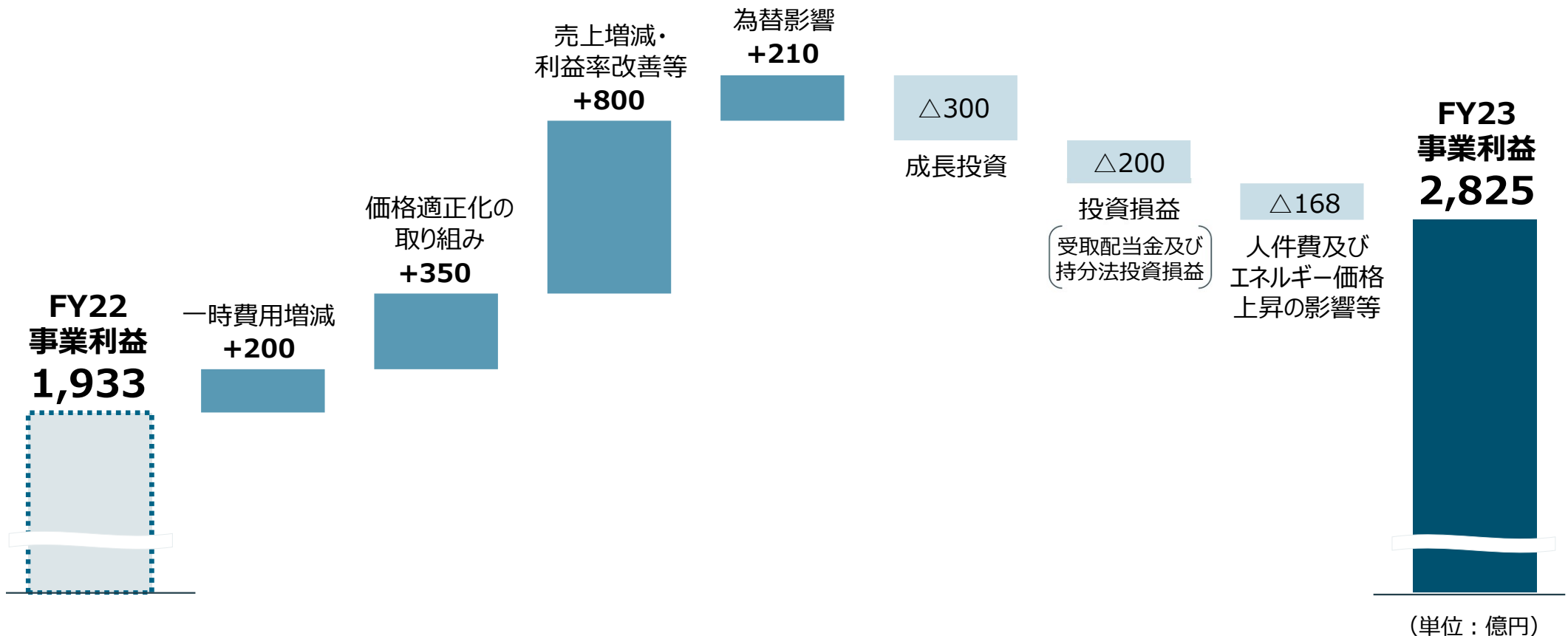
	FY22	FY23	増減
営業キャッシュ・フロー	808	3,311	+2,502
投資キャッシュ・フロー	△455	△1,310	△854
フリー・キャッシュ・フロー	353	2,001	+1,648
減価償却費	1,378	1,501	+122
EBITDA	3,311	4,326	+1,014
EBITDA (%)	7.9%	9.3%	+1.4pts

### 投資CFの主な内訳 (単位：億円)

設備投資・投融資等	△1,396	△1,723	△327
事業の取得	△44	△735	△691
不動産等の売却	+380	+372	△8
政策保有株式売却	+581	+562	△19
その他	+24	+214	+190
<b>合計</b>	<b>△455</b>	<b>△1,310</b>	<b>△855</b>

# 事業利益増減分析

- 一時費用については、航空エンジン事業におけるPW1100G-JMに関する費用、火力事業における海外工事案件の損失等を計上したものの、前年度からは減少し利益を押し上げ
- 価格適正化の効果、売上増、工事採算の改善及びサービス拡大等による利益率改善、為替円安影響が利益を押し上げ



(単位：億円)

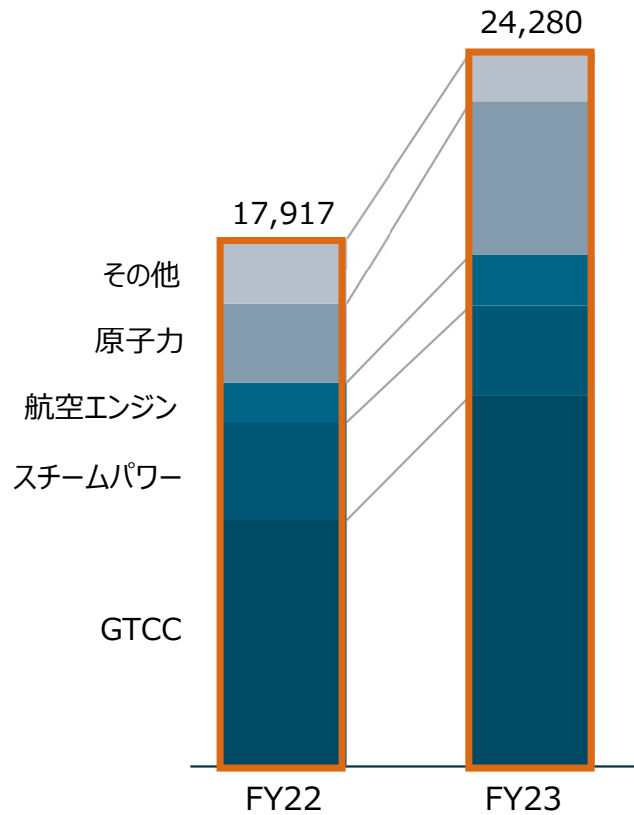
	受注高			売上収益			事業利益		
	FY22	FY23	増減	FY22	FY23	増減	FY22	FY23	増減
エネルギー	17,917	24,280	+6,362	17,386	17,615	+228	851	1,415	+564
プラント・インフラ	8,454	8,673	+219	6,756	7,952	+1,196	327	548	+220
物流・冷熱・ ドライブシステム	12,150	13,186	+1,036	12,037	13,145	+1,108	389	728	+338
航空・防衛・宇宙	7,036	20,687	+13,650	6,194	7,915	+1,721	399	726	+327
全社又は消去	△545	12	+558	△347	△58	+289	△35	△593	△558
合計	45,013	66,840	+21,827	42,027	46,571	+4,543	1,933	2,825	+892



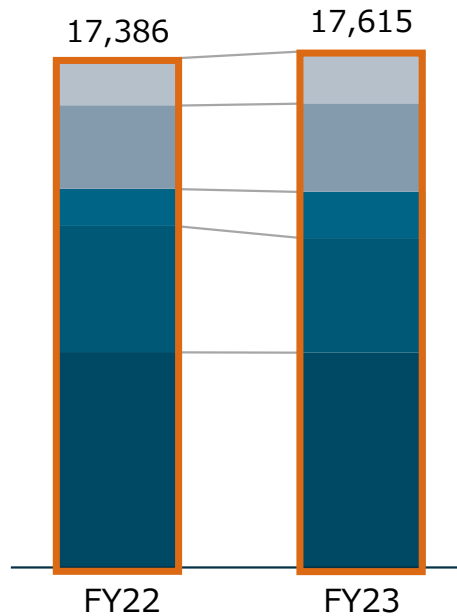
# セグメント別決算実績 <エネルギー>

(単位：億円)

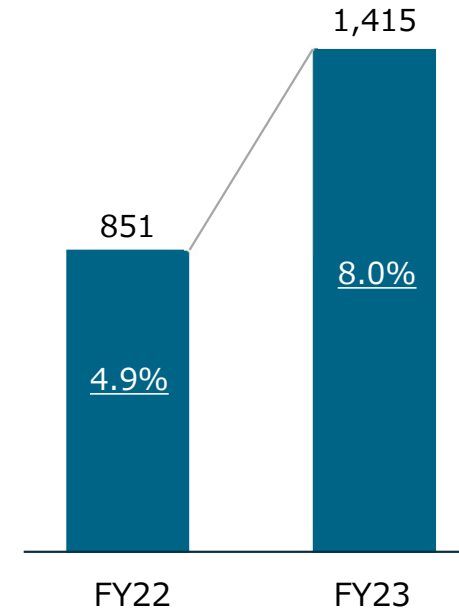
## 受注高



## 売上収益



## 事業利益



### 前年度比

- 増益：**
- ・GTCC
  - ・スチームパワー
- 減益：**
- ・航空エンジン

## 受注高

主な事業	受注高	
	2022年度	2023年度
GTCC	8,346	12,593
スチームパワー	3,335	3,054
航空エンジン	1,342	1,727
原子力	2,687	5,222

## 売上収益

	売上収益	
	2022年度	2023年度
	7,368	7,356
	4,293	3,898
	1,265	1,574
	2,844	3,008

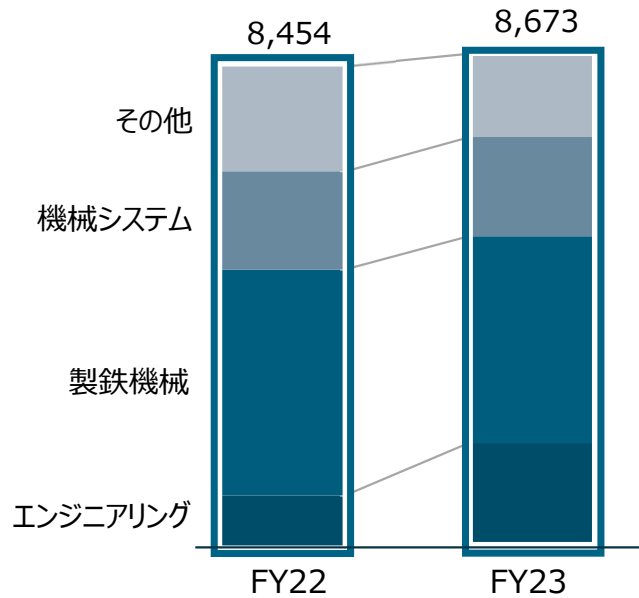
## 決算実績のポイント

- GTCCの受注は日本を含むアジアと米国を中心に大幅に増加。サービス事業拡大等により増益
- 航空エンジンは需要回復にともない増収。PW1100G-JMエンジンプログラムに関する一時費用の計上により減益
- 原子力は受注が大きく伸長。売上・利益は堅調に推移

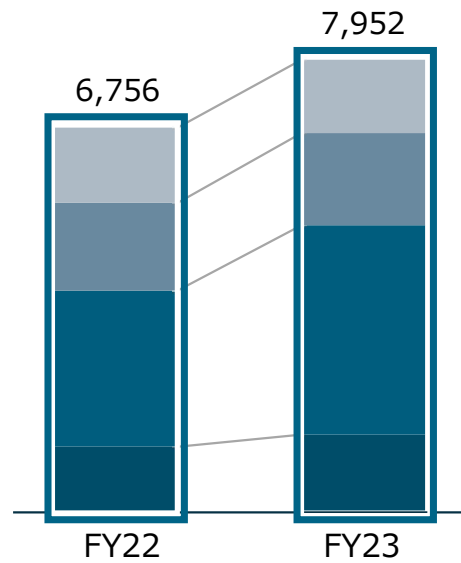
# セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

(単位：億円)

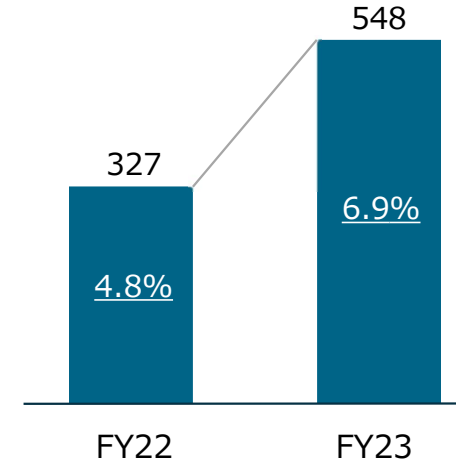
## 受注高



## 売上収益



## 事業利益



### 前年度比

増益：  
 ・エンジニアリング  
 ・製鉄機械

## 受注高

主な事業	2022年度	2023年度
エンジニアリング	876	1,802
製鉄機械	3,988	3,650
機械システム	1,731	1,747

## 売上収益

主な事業	2022年度	2023年度
エンジニアリング	1,127	1,340
製鉄機械	2,755	3,694
機械システム	1,545	1,624

## 決算実績のポイント

- 製鉄機械は売上増、為替円安の影響等により増益
- エンジニアリングは工事の順調な進捗とプロジェクト採算の改善により増収増益
- 機械システムは堅調に推移

# セグメント別決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>

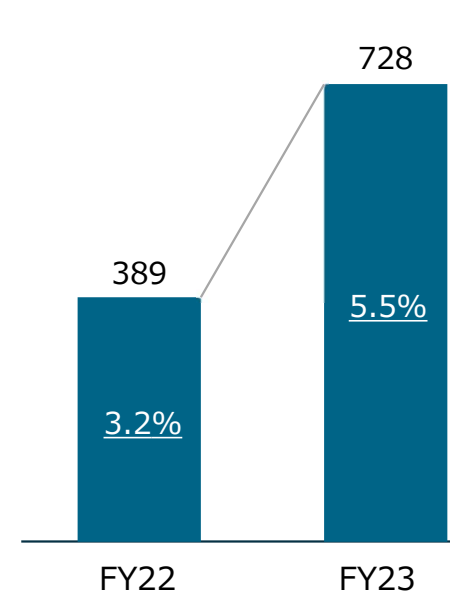
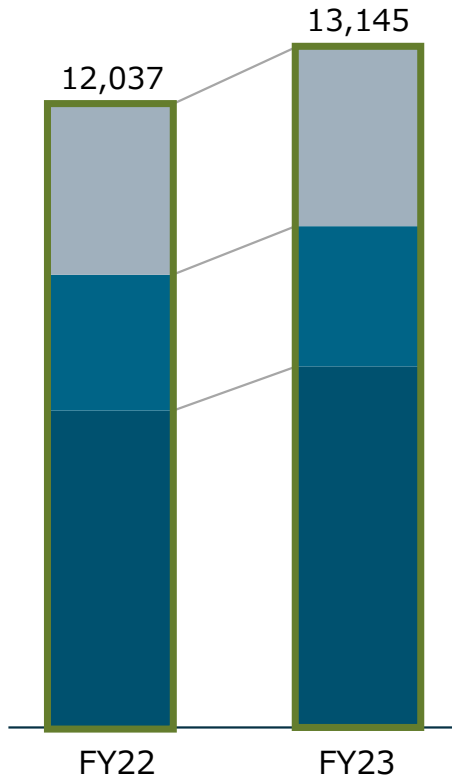
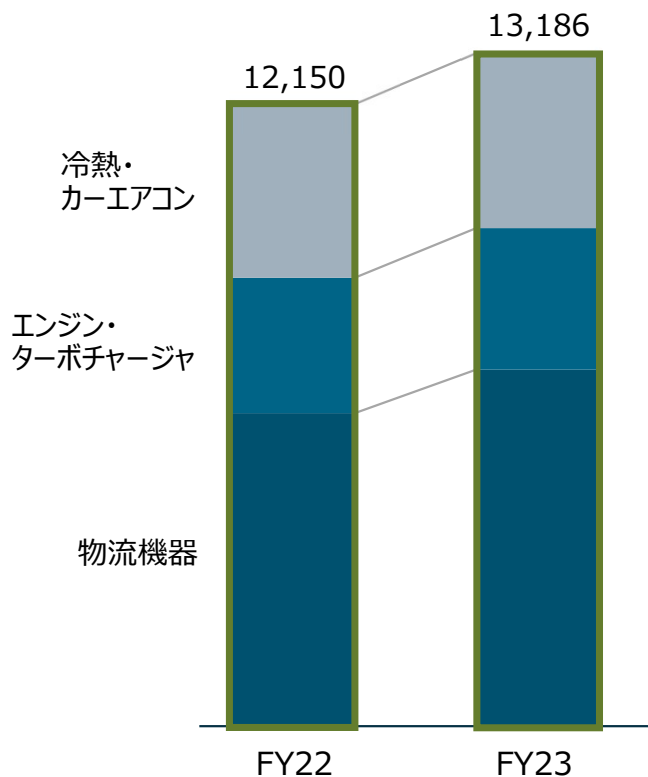
(単位：億円)

## 受注高

## 売上収益

## 事業利益

### 前年度比



- 増益：**
- ・物流機器
  - ・エンジン
  - ・冷熱
- 減益：**
- ・ターボチャージャ

主な事業	受注高	
	2022年度	2023年度
物流機器	6,152	7,013
エンジン・ターボチャージャ	2,667	2,786
冷熱・カーエアコン	3,420	3,453

主な事業	売上収益	
	2022年度	2023年度
物流機器	6,152	7,013
エンジン・ターボチャージャ	2,643	2,731
冷熱・カーエアコン	3,323	3,481

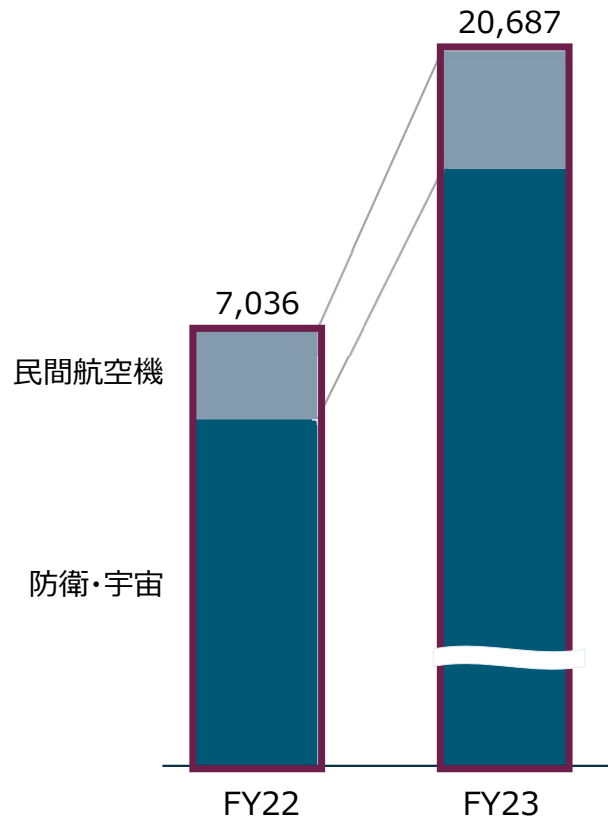
### 決算実績のポイント

- 物流機器、冷熱及びエンジンは、価格適正化、為替円安の影響により増収増益

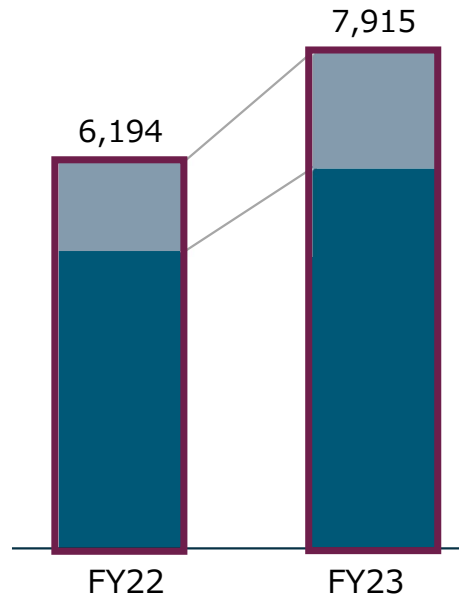
# セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(単位：億円)

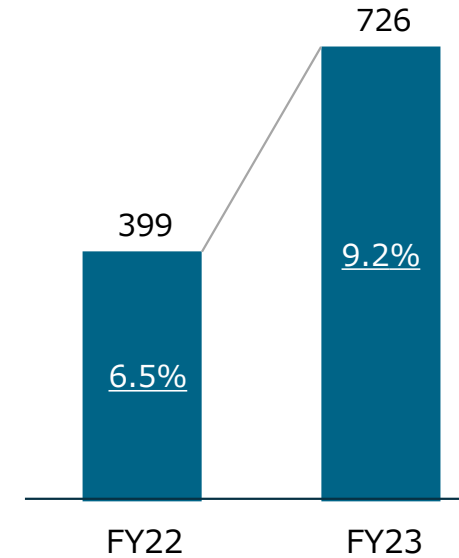
## 受注高



## 売上収益



## 事業利益



### 前年度比

増益：  
・防衛・宇宙  
・民間航空機

## 受注高

主な事業	2022年度	2023年度
防衛・宇宙	5,571	18,781
民間機	1,465	1,906

## 売上収益

事業	2022年度	2023年度
民間機	1,445	1,851
防衛・宇宙	4,749	6,064

## 決算実績のポイント

- 防衛・宇宙は、スタンド・オフ防衛能力に関する案件をはじめ、複数の大型案件を受注し大幅に伸長
- 民間機は、Tier1事業において出荷機数増及び為替円安の影響等により増収増益

## 3. 2024年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

(単位：億円)	2023年度 (利益率)	2024年度 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	66,840	58,000	△8,840	(△13.2%)
売上収益	46,571	49,000	+2,428	(+5.2%)
事業利益	2,825 (6.1%)	3,500 (7.1%)	+674 (+1.0 pts)	(+23.9%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,220 (4.8%)	2,300 (4.7%)	+80 (△0.1 pts)	(+3.6%)
ROE	11.1%	10.0%	△1.1 pts	
EBITDA	4,326 (9.3%)	5,000 (10.2%)	+673 (+0.9 pts)	(+15.6%)
フリー・キャッシュ・フロー	2,001	△1,000	△3,001	
配当 (株式分割考慮後) <sup>(※1)</sup>	20円 中間8円/期末12円	22円 中間11円/期末11円	前提為替レート：1ドル=145円、1ユーロ=155円 未確定外貨：38億ドル、7億ユーロ	

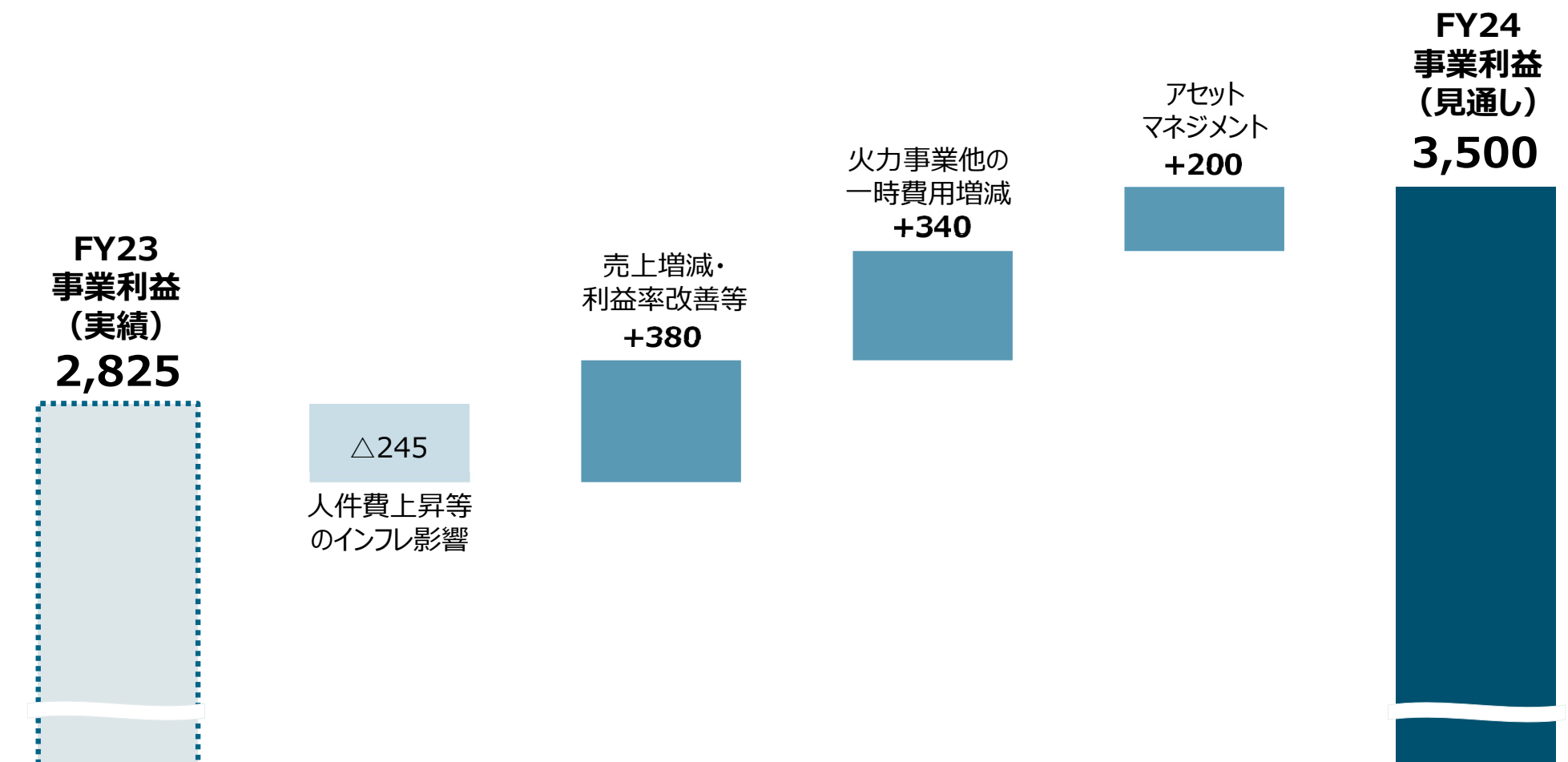
(※1) 配当 (株式分割考慮後) は、2024年4月1日の株式分割 (10分割) を踏まえ、23年度に遡り調整 (分割前配当×1/10) した金額を記載

- 受注5.8兆円、売上4.9兆円、事業利益率7%、事業利益3,500億円

	受注高	売上収益	事業利益	主なポイント
エネルギー	1.85兆円	1.75兆円	1,700億円	受注・売上・利益とも堅調
プラント・インフラ	0.9兆円	0.8兆円	300億円	GXセグメントを新設。当面は事業開発のための費用が先行
物流・冷熱・ドライブシステム	1.35兆円	1.35兆円	800億円	価格適正化を含む増収効果により利益率改善が継続
航空・防衛・宇宙	1.7兆円	0.9兆円	800億円	受注は前年度比で減少するものの高水準が継続

- EBITDAは、事業利益の増加にともない前年度比+673億円の5,000億円
- 当期純利益は、事業利益の増加にともない前年度を上回る2,300億円
- 配当は、2024年4月1日の株式分割考慮後（10分割）で、前年度の20円から2円を上乗せした1株当たり22円を予定する

- 人件費上昇等のインフレ影響を減益要因として織り込み
- 火力事業及び航空エンジン事業等において過年度に発生した一時費用が縮小



(単位：億円)



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	3.9兆円	4.2兆円	4.6兆円	<b>4.9兆円</b>
事業利益率	4.2%	4.6%	6.1%	<b>7%</b>
ROE	7.7%	7.9%	11.1%	<b>10%</b>
総資産	5.1兆円	5.5兆円	6.3兆円	<b>6.5兆円</b>
有利子負債	0.7兆円	0.7兆円	0.7兆円	<b>0.9兆円</b>
資本	1.7兆円	1.8兆円	2.4兆円	<b>2.5兆円</b>
D/Eレシオ	0.4	0.4	0.3	<b>0.4</b>
株主資本比率	31%	32%	36%	<b>38%</b>
一株当たり配当金 <sup>(※1)</sup> (株式分割考慮後)	10円	13円	20円	<b>22円</b>

(※1) 一株当たり配当金（株式分割考慮後）は、2024年4月1日の株式分割（10分割）を踏まえ、過年度に遡り調整（分割前配当×1/10）した金額を記載

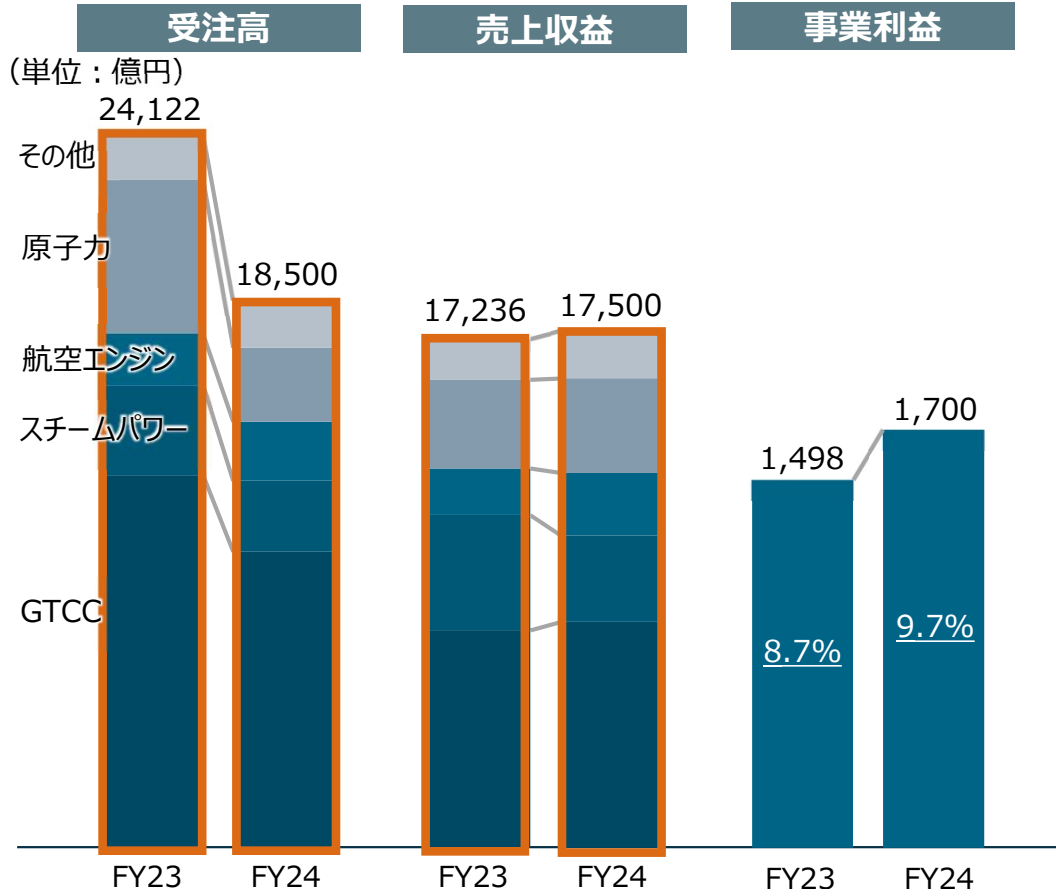
# 業績見通し セグメント別内訳

	受注高			売上収益			事業利益		
	(※1) FY23 実績	FY24 見通し	増減	(※1) FY23 実績	FY24 見通し	増減	(※1) FY23 実績	FY24 見通し	増減
(単位：億円)									
エネルギー	24,122	18,500	△5,622	17,236	17,500	+263	1,498	1,700	+201
プラント・インフラ	8,831	9,000	+168	8,332	8,000	△332	447	300	△147
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,186	13,500	+313	13,145	13,500	+354	728	800	+71
航空・防衛・宇宙	20,687	17,000	△3,687	7,915	9,500	+1,584	726	800	+73
その他及び 全社又は消去	12	0	△12	△58	500	+558	△575	△100	+475
合計	66,840	58,000	△8,840	46,571	49,000	+2,428	2,825	3,500	+674

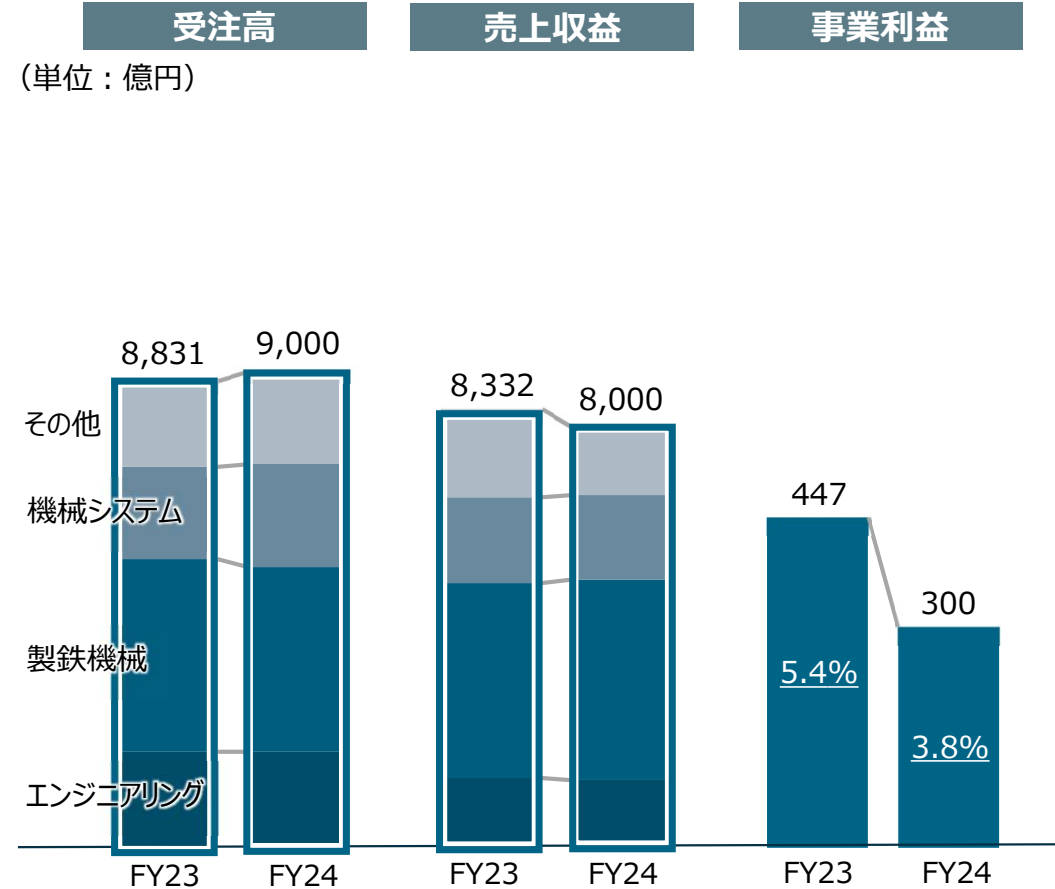
(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設等の組織再編の影響を23年度に遡り反映した金額を記載  
34頁の「補足資料 報告セグメント間の組み換え」に調整表を掲載

# セグメント別業績見通し <エネルギー、プラント・インフラ>

## エネルギー



## プラント・インフラ



### 2024年度見通しのポイント

- 受注は、前年度より減少を見込むが、引き続き堅調
- GTCC、航空エンジン及び原子力は、増収増益
- スチームパワーは新設のピークアウトにより減収減益

### 2024年度見通しのポイント

- 製鉄機械を中心に過去3年間に受注残を増やしており、これまで受注した工事を確実に遂行
- GXセグメントを新設し、エナジートランジション関連部門を統合。事業開発の費用が先行し利益を押し下げ

# セグメント別業績見通し <物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙>



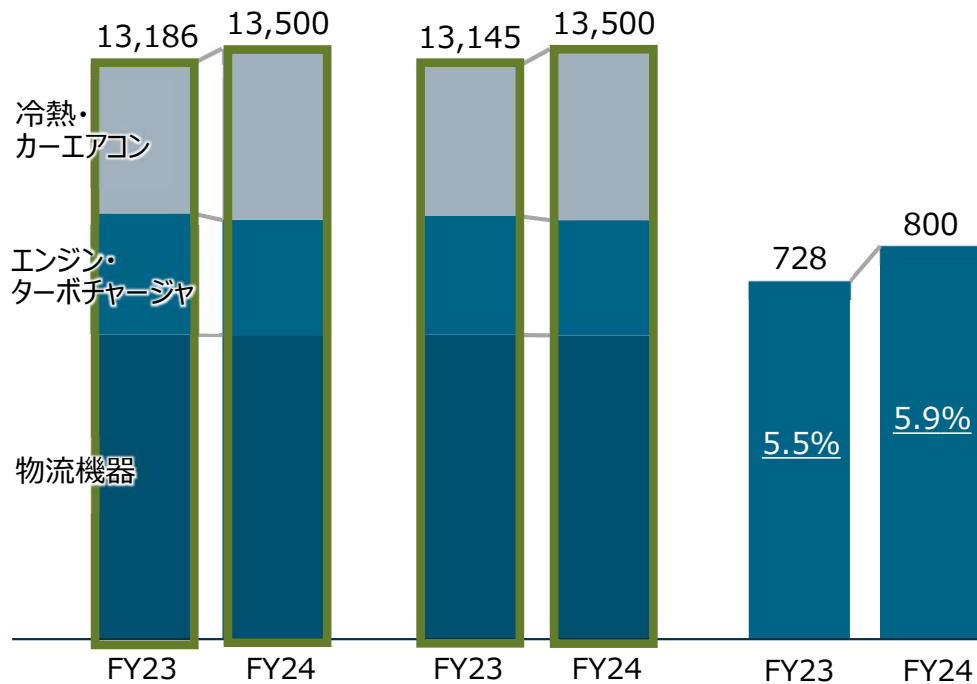
## 物流・冷熱・ドライブシステム

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



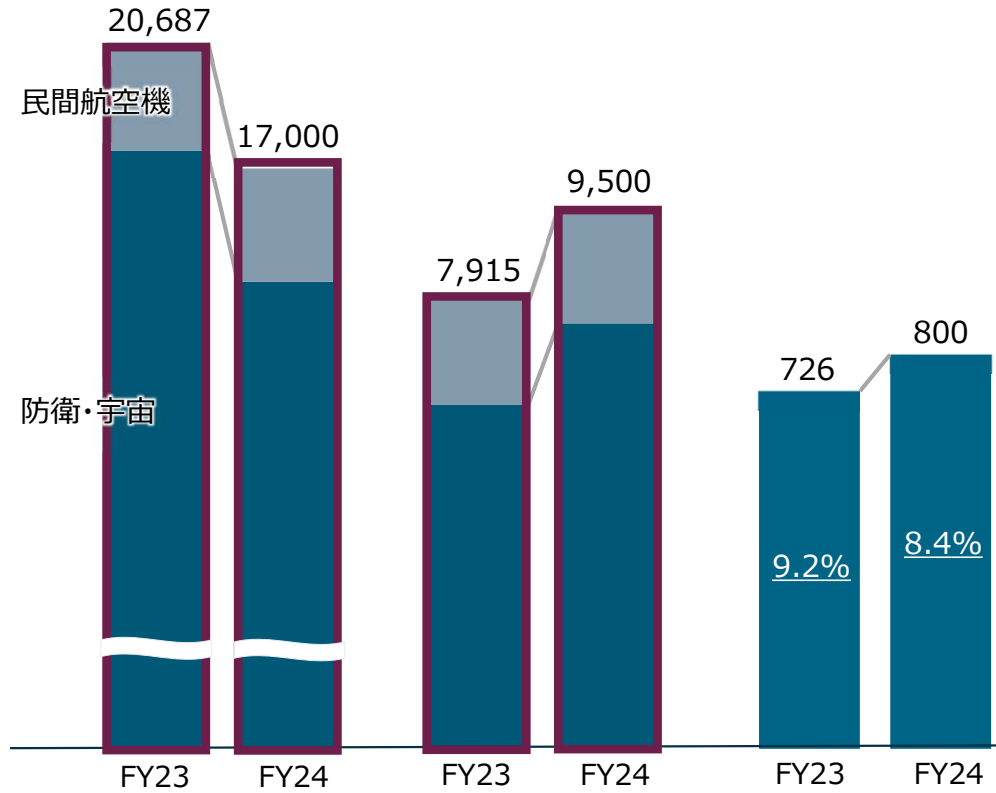
## 航空・防衛・宇宙

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



### 2024年度見通しのポイント

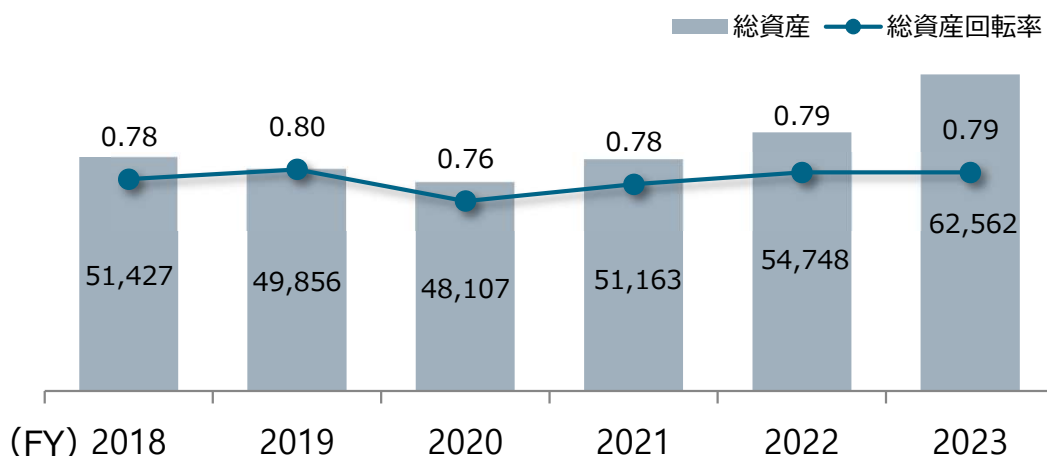
- 価格適正化を含む増収効果により利益率が改善

### 2024年度見通しのポイント

- 防衛・宇宙の受注は、前年度からは減少するが、高い水準が継続。売上は航空機・飛昇体を中心に増加
- 民間機の受注・売上は前年度と同水準で織り込み

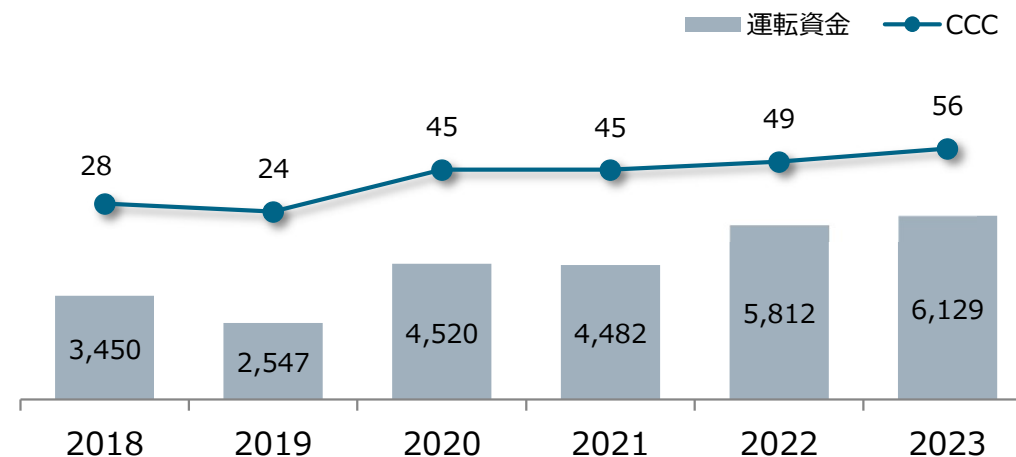
# 4. 補足資料

## 総資産 (単位：億円)



総資産回転率 = 売上収益 ÷ 総資産 (期首・期末平均)

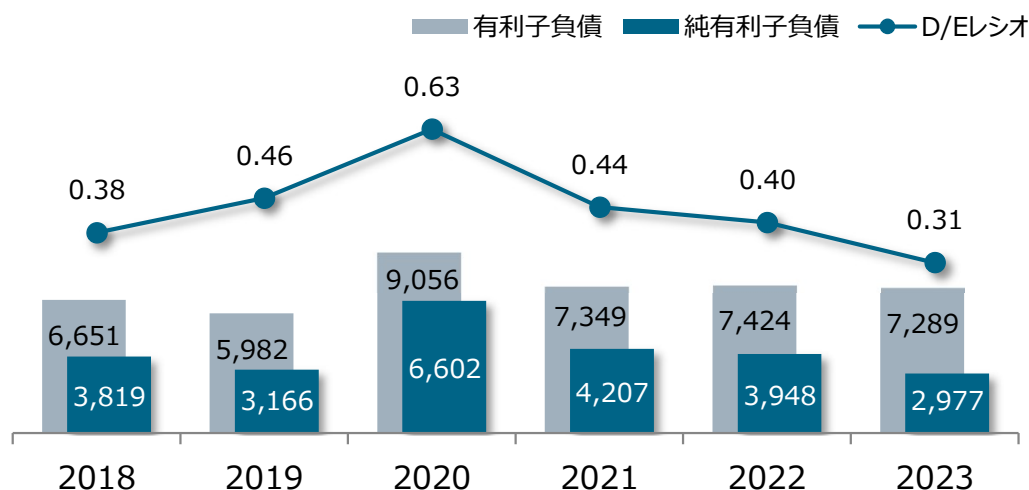
## 運転資金 (単位：億円)



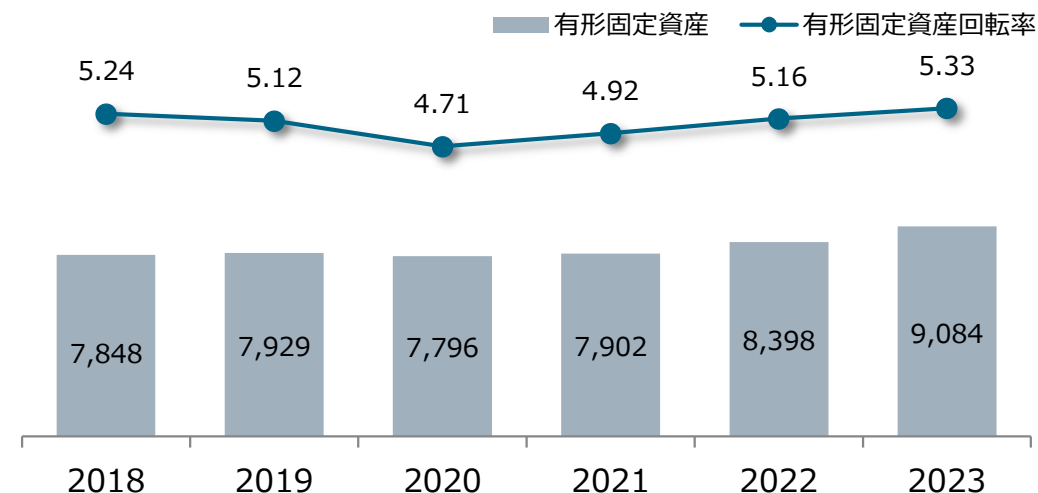
運転資金 = 売上債権 (契約資産を含む) + 棚卸資産 - 買入債務 - 契約負債 (前受金) の全社合計値

CCCはセグメントの運転資金 (前渡金を含む) と売上収益で算定

## 有利子負債 (単位：億円)



## 有形固定資産 (単位：億円)



## 大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	2022年度	2023年度
米州	4	4
アジア	7	9
EMEA	1	0
その他	4	4
<b>受注台数 合計</b>	<b>16</b>	<b>17</b>
<b>契約残台数</b>	<b>43</b>	<b>36</b>

### 【参考】中国の協業先企業における受注台数

	2022年度	2023年度
<b>受注台数</b>	<b>27</b>	<b>21</b>

## 民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2022年度	6	7	7	10	30
2023年度	7	11	7	5	30

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2022年度	1	0	0	0	1
2023年度	0	1	3	2	6

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2022年度	5	7	8	5	25
2023年度	9	7	13	14	43

## 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度見通し
研究開発費	1,136	1,274	1,783	2,200
減価償却費	1,321	1,378	1,501	1,500
設備投資	1,228	1,507	2,004	1,800

## キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度見通し
営業キャッシュ・フロー	2,855	808	3,311	-
投資キャッシュ・フロー	163	△455	△1,310	-
フリー・キャッシュ・フロー	3,018	353	2,001	△1,000
財務キャッシュ・フロー	△2,557	△189	△1,589	-

## 有利子負債、D/Eレシオ

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度見通し
有利子負債残高 (単位：億円)	7,349	7,424	7,289	9,000
D/Eレシオ	0.44	0.40	0.31	0.4

## ドル円為替レート

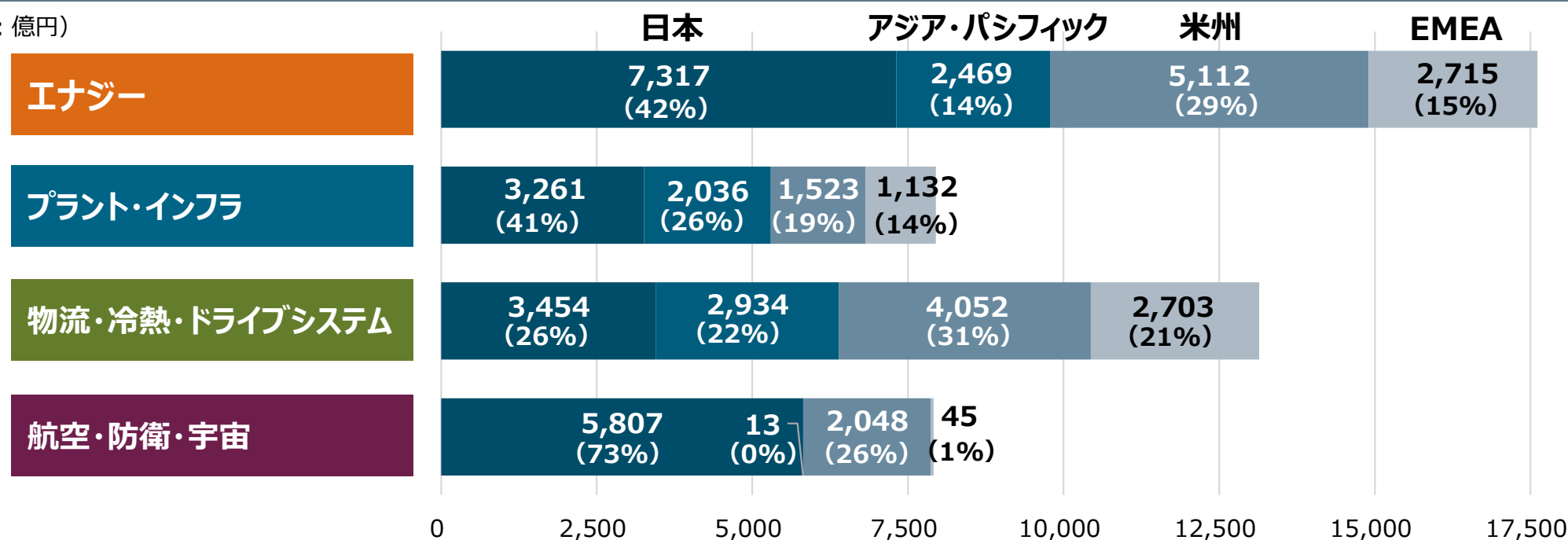
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度見通し
売上計上平均レート	111.6	134.9	143.2	145
(参考) 期末日レート	122.4	133.5	151.4	-



受注残高 (単位：億円)	2021年度	2022年度	2023年度
エネルギー	31,144	33,256	42,838
プラント・インフラ	12,434	15,092	15,696
物流・冷熱・ドライブシステム	432	548	583
航空・防衛・宇宙	10,871	11,718	24,742
その他及び全社又は消去	3	2	144
合計	54,885	60,618	84,005

## 2023年度 セグメント/地域別売上高

(単位：億円)



# 補足資料 組織再編に伴う報告セグメント間の組み換え

2024年4月1日のGXセグメント新設等の組織再編の影響を23年度期首に遡り反映した場合の受注高・売上収益・事業利益及びそれらの調整額

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY23 実績	調整額	調整後 FY23 実績	FY23 実績	調整額	調整後 FY23 実績	FY23 実績	調整額	調整後 FY23 実績
(単位：億円)									
エネルギー	24,280	△158	24,122	17,615	△379	17,236	1,415	+82	1,498
プラント・インフラ	8,673	+158	8,831	7,952	+379	8,332	548	△100	447
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,186	-	13,186	13,145	-	13,145	728	-	728
航空・防衛・宇宙	20,687	-	20,687	7,915	-	7,915	726	-	726
全社又は消去	12	-	12	△58	-	△58	△593	+17	△575
合計	66,840	-	66,840	46,571	-	46,571	2,825	-	2,825

